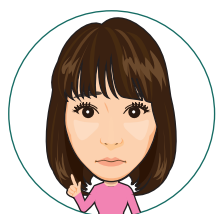


車の暴走事故の原因と対策アドバイス



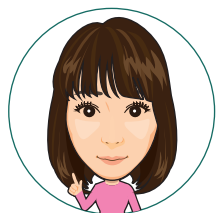
お久しぶりです！ミズキです！日に日に暖かくなってきましたね。皆さん、いかがお過ごしでしょうか？さて、今回のテーマは、“車の暴走事故の原因とその対策”です。テレビをつけると、コンビニに突っ込んだり、歩行者に追突したり、高齢者の方が運転する車が暴走したことによる事故が頻繁に報道されますよね。実は私の広島に住む祖母も、つい最近このような事故を起こしてしまいまして…何か対策はないかと考えてみました。

ミズキのおばあちゃんも、車がないと移動にすごく不便なところに住んでるから、車に乗るなっていうのも無理な話だもんね。



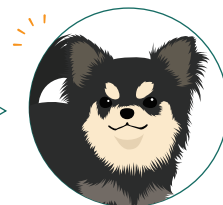
そうなんです。今回は少しのケガだけで命に別状はなかったからまだこうやって対策を考えることができるけれど、そうじゃなかったら考えるとゾッとします・・・。

おばあちゃんも、まさか自分がやってしまうなんて…ってショックを受けていたよ。



「高齢者の運転する車の暴走」とよく報道されます。高齢者の定義は65歳以上（国連の世界保健機関（WHO）の定義）。けれど、65歳以上の現役バリバリのおじいちゃんおばあちゃんを私はたくさん知っています。そういった方に単に「危ないから」と車を取り上げてしまうのではなく、事故の原因を知り対策を立てることで、安全で余裕のある走行ができる手助けをしたいと思っています。

具体的にどういう原因があって、どこを注意すればいいのかな！？



それでは、原因とその対策のアドバイスを記載してみました！一緒に見ていきましょう。裏面へ続きます！

車の暴走事故の主な原因と対策

1 注意力が散漫になっている状態は危険

車の暴走事故は、実は高齢者だけでなく 20代にも多い というデータがあります。まだ運転に慣れていなかったということも考えられますが、注意力が散漫になっていたということが大半だそうです。走行中、注意力が散る原因第一位は間違いなく “携帯が鳴ること” でしょう。たださえ、路上には看板や通行人など気が取られるものが多く存在します。せめて携帯だけでも、走行中はドライブモードに設定したり、音が鳴らないようにして気にならないところに置く などしてみてもいいかもしれません。

2 発進・駐車タイミングは特に危ない

「さて、出発（到着）！」 このタイミングでの車の暴走事故が最も多いそうです。いつもの慣れた動作に、ギアがどこに入っているか、目で確認することを怠っていませんか？ 特に駐車場では、他車のタイミングに合わせて慌てて発進・駐車することもあるでしょう。自分の思っていた方向と逆に車が進んだ時、すぐに反応できたとしても、周りの状況によっては大事故に…ということにもなりかねません。まずは ギアは目で見えてしっかりと確認 すること、そして 慌てずに発進・駐車できる状況かを確認 することを心がけてみてください。

3 ブレーキとアクセルの踏み間違いに注意！

事故の原因で多いのが、アクセルとブレーキの踏み間違い。踏み間違いが起こりやすい時は、バックする為に身体を捻るなど、正常な運転姿勢ではない時 や、「危ない！」と 瞬時に判断しなければならない時 などが考えられます。20代にも暴走事故は多いと1番でも言いましたが、“高齢者”と報道されるのはこの瞬時に判断するのが難しくなっているからだだと思います。車間距離をあげたり、車の周りに余裕がある状態を作る ことで、万が一踏み間違いをしても踏み直す余裕ができます。



私の祖母も、ちょっとした段差を乗り越えようと少しアクセルを踏み、思ったよりスピードが出てしまったのでブレーキを踏もうとしたところ、気がついたら前の車に突っ込んでしまっていたそうです。ただ、祖母はブレーキを踏んだが車が勝手に前進したと話していて、警察の現場検証ではブレーキ痕はなかったとのことでした。スピードが思ったよりも出て慌てて、ブレーキとアクセルを踏み間違えてしまったのでしょう。本当に死傷者がいなかったのは不幸中の幸いです。最後まで読んで下さった皆様、ありがとうございます。ぜひご家族のみなさんに共有してみんなで安全運転に努めてみてくださいね！

和田保険事務所では、自動車、火災、傷害保険に限らず、生命保険や医療保険、年金や旅行保険等、様々な保険を取り扱っています！資格を持ったスタッフが、様々なリスクを想定し、あなたに合った保険をご提案させていただきますので、わからないことがあればお気軽にご相談ください。いつでもご説明に伺います！ご親族様やご友人のご紹介等ございましたら、和田保険事務所までご連絡をお願い致します。